

第3回おくすり出前講座会議議事録

1. 開催日時：令和5年2月16日（木） 19：30～20：45
2. 開催場所：Web会議（Zoom利用）
3. 出席者：26名 阿部 正典、上田 里美、大平 厚子、岡 英紀、岡田 圭二
加藤 貴之、小森 梨央、齊藤 佳代子、沢田 唯鈴、鈴木 雅博
武内 恵子、武下 淳史、田中 亜子、玉村 眞治、辻 皓平
原田 桂子、廣角 良治、藤本 修嗣、藤本 宜子、松浦 恵子
山口 哲夫、山田 康裕、山本 正道、吉田 秀二、吉成 正太郎
若生 美樹（あいうえお順）
4. 議事録作成者 担当副会長：若生 美樹
5. 議 題
 - (1) 令和4年度「おくすり出前講座」の実施結果（令和5年1月実施分まで）について (2) 今後の事業の進め方（案）について
 - ① 事業の進め方は、基本的には令和4年度を踏襲
 - ② パワーポイント資料について
 - ア 誤字等の校正
 - イ アンケート調査における評価からは、
 - ウ エビデンスの面から資料の見直しをする必要あり
 - ③ アンケート調査から
 - ④ 新テーマ
6. 意見交換等議事の経過及びその結果
19時30分に会長のあいさつの後、議題の審議に入った。
 - (1) 令和4年度「おくすり出前講座」の実施結果（令和5年1月実施分まで）について
鈴鹿亀山薬剤師会事務局から、令和4年度の実施結果について資料に基づき説明があった。
 - (2) 今後の事業の進め方（案）について
鈴鹿亀山薬剤師会事務局から、
 - ・事業の進め方は、基本的には令和4年度を踏襲するが、亀山市での開催事例が少ないので働きかけを行う旨の説明があった。
 - ・パワーポイント資料について、誤字等の校正、アンケート調査における評価から「熱中症の原因と対策について」、「認知症について」、「フレイルを知ってみんな健康長寿」の資料にブラッシュアップの必要があること、
 - ・エビデンスの面から「健康寿命を延ばすために 病気にならにようにするには」を、国の疾患横断的エビデンスに基づく健康寿命延伸のための提言（第一次）を踏まえて見直すこと、
 - ・アンケート調査から「お薬との正しい付き合い方」について、多い個別の質問への回答をどうするか、
 - ・新テーマとして、講師アンケート調査から、感染症、セルフメディケーション（食事・運動を含む）、健康食品（サプリメント）問題について、薬の個別対応（例：現状は内服薬のみなので、点眼薬や湿布薬の正しい使い方、はがれにくい貼り方など、塗り薬の正しいぬり方などをどこまで紹介するか）、参加者アンケートから、便秘、血液検査結果の見方・内容について、腎臓病 胆石、コレステロールとの提案があった。
 - (3) 参加者方の意見と協議内容
 - ① 実際に講座を担当したときは資料を事前に読み込まないといけないので、自分の言葉で

話せるように資料に手を加えたが、資料があることは大きな助けとなった。また、これまでの講座の経験と現在の疾患の多さから新テーマとして「糖尿病」がテーマになるのではないか。それ以外に糖尿病以外の生活習慣病、感染症や抗生剤の適正使用を含めたテーマが考えられる。薬剤師が正面から疾病を対象とすることへの懸念については、一般の方を対象としているので、疾病そのものを対象としてもわかりやすい内容とすれば十分可能であるとの意見があった。

- ② 平日の午前中は一般的に対応が難しいため、いくつかの講座を担当したが、参加者は非常に熱心な方ばかりであった。また、提供資料は、ボリュームが多いため説明時間を踏まえてカットしないといけないときもある。説明資料の見直しでは、参加者に新たな気づきを与えるような視点で作成することも必要だと思う。
 - ③ 亀山市への働きかけは賛成であるが、薬局は、木曜日午後以外に対応が難しい。働きかけにあたっては、その辺の事情も配慮いただきたい。
 - ④ 令和4年度は講師を務めることは難しかったが、土・日開催の日が多いと対応するにもありがたい。また、サプリメントをテーマとする要望が多いが、このテーマは取り扱いが難しいと思うので、慎重であってほしい。
 - ⑤ 多くの講座で講師を務めたが、相手は一般市民で65歳以上の方が多く、理解力が乏しいときもある。講座は、高齢者でも聴くことが可能な45分から50分程度とし、残りの10分程度は質疑応答に充てるようにしている。また、わかりやすいことばで説明し、講座の中ほどでは、熱中症のスライドにあるような水分補給タイム、あるいはトイレ休憩をするようにしている。また、お薬の正しい使い方、外用薬の追加をとの意見があったが、追加するのであれば、図やイラストを利用したわかりやすい資料でないといけないと思う。
- (4) 会議の結果を踏まえた今後の対策
- アンケートや会議で多くのご意見をいただいたので、それを踏まえて来年度の対策として次の点を検討したい。
- ① 講師との情報共有を図るために、Dr. JOYでグループを組む。
 - ② 令和4年度の資料は、ブラッシュアップするが、今年度の資料と併存させて、講師が選択できるようにする。
 - ③ 新テーマについては、事務局での対応が難しいので、講師で作成可能な場合は任せる。
 - ④ 来年度の鈴鹿市への働きかけでは、「木・土曜日午後及び日曜日大歓迎」とのコメントを付ける（他曜日も受け付けるが）。亀山市への働きかけでは、木・土曜日午後及び日曜日以外は要検討とする。
 - ⑤ 配布資料は、令和4年度と同様のA4で1ページとするが、内容は見直す。

以上、議事の審議はすべて終了したので、議長は20時52分に閉会を宣し、解散した。

令和5年2月17日

一般社団法人鈴鹿亀山薬剤師会
副会長 若生 美樹